

平成26年千葉市教育委員会会議  
第1回臨時会会議録

千葉市教育委員会

# 平成26年千葉市教育委員会会議第1回臨時会会議録

日時 平成26年3月10日(月)

午後2時00分開会

午前2時30分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 和田 麻理  
委 員 篠原ともえ  
委 員 内山 英夫  
委 員 中野 義澄  
委 員 明石 要一  
教 育 長 志村 修

出席職員 教 育 次 長 田辺 裕雄 教 職 員 課 長 伊藤 剛  
教 育 総 務 部 長 竹川 幸夫 総務課人事・労務担当課長 内山 健  
総 務 課 長 石野 隆史 総務課総括主幹 南 久志

書 記 総務課長補佐 山本 春樹 総務課人事係長 鴫田 昌奈  
総務課総務係長 渡邊 実 総務課主任主事 片岡比佐史

- 1 開会  
和田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
和田委員長より篠原委員を指名
- 4 会期の決定  
平成26年3月10日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認  
平成25年第8回定例会、第9回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要

(1) 非公開事項の決定

議案第10号及び議案第11号を非公開審議とする旨決定

(2) 議決事項

議案第10号 県費負担教職員の人事について

教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第11号 事務局等職員の人事について

総務課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(3) 発言の要旨

議案第10号 県費負担教職員の人事について

委員長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 「県費負担教職員の人事について」、説明します。

当該議案は、平成26年3月31日付け及び同年4月1日付け千葉市立小学校、中学校及び特別支援学校の校長及び教頭の県費負担教職員の管理職人事発令について、千葉市教育委員会組織規則第8条第4号の規定に基づき、議決を求めるものです。

本年4月1日付けの管理職の人事発令においては、「平成25年度末及び26年度公立学校職員人事異動方針」に基づき、特に次の事項に配慮しました。

1つとして、管理と指導に優れ、高い識見を有した管理職の登

用に努めたこと、2つとして、教育効果を高め、調和的な学校経営が行われるよう、適材適所の管理職人事を推進したこと、3つめとして、女性管理職の登用については、積極的に推進したこと、なお、管理職登用に当たり、原則同一校での昇任は行っていません。

それでは人事異動一覧に基づき、「校長の部」から説明します。

まず退職ですが、「蘇我小学校長 藤田 雅臣」をはじめ、49名です。

内訳は、小学校26名、中学校22名、特別支援学校1名であり、そのうち「犢橋小学校長 釜井 かつ子」はじめ、12名の女性校長が退職となります。なお、「椎名小学校長 島村 京子」、「高等特別支援学校長 野口 洋子」を除く、定年退職校長47名の平均在職年数は4.2年です。

次に新任ですが、「園生小学校長 山口 喜弘」はじめ、48名を昇格させたいと考えています。

内訳は、小学校24名、中学校22名、特別支援学校2名です。新任校長のうち、最年少は、「大巖寺小学校長 山下 敦史」をはじめ、2名の53歳、最年長は「犢橋小学校長 百瀬 一郎」をはじめ、13名の57歳です。また、新任校長の平均年齢は55.8歳です。

女性の登用ですが、新任校長5名となります。なお、女性校長の全体の数は20名となります。

次に転出ですが、県との人事交流として、「現新宿小学校教頭 横山 貞夫」が八千代市立高津小学校へ新任校長として赴任します。

次に採用ですが、こちら県との人事交流により、「千葉県教育庁教育振興部指導課 指導主事 積田 明雄」を土気南小校長として採用します。

次に配置換えですが、「蘇我小学校長 小高 正樹」はじめ、5名です。

内訳は、小学校4名、中学校1名です。

経験年数、教科等の専門性、学校規模等様々な要件を考慮して、適材適所の配置に努めました。

次に再任ですが、教育委員会から再度、校長として学校現場に転任する者で、「都賀小学校長 森 健」はじめ、6名です。

この6名の校長相当職としての事務局在職年数は平均1.7年

となっています。

次に「行政へ」ですが、校長から教育委員会事務局に入る者で、「弁天小学校長 伊藤 裕志」はじめ、7名です。これらの者の平均年齢は54.1歳です。全員が、教頭・教諭時代に本市の教育委員会事務局を経験しています。

これまでが校長の異動です。校長の異動にあたっては、学校規模や学校の状況、また校長としての経験年数等を配慮するとともに、過去に勤務経験があり、学区を熟知している学校であるか、また研究指定校の有無、生徒指導上の課題等を勘案しながら、これまでの経験や実績を踏まえて、適正配置に努めました。

また、特別支援学校や特別支援学級を設置している学校については、特別支援教育に長けた校長を配置するなどの配慮をしました。

引き続いて、「副校長の部」についてですが、新任として、「稲毛高等学校附属中学校 板垣 章子」の1名です。

続いて、「教頭の部」について説明します。

まず退職ですが、「千城台西小学校 小原 邦夫」をはじめ、2名で、定年退職です。

続いて新任ですが、「登戸小学校 楠瀬 千夏」をはじめ、44名です。

内訳は、小学校25名、中学校17名、特別支援学校2名で、昇格者の平均年齢は、53.0歳です。最年少は49歳で、「生浜西小学校 廣瀬 眞弓」をはじめ、4名です。最年長は57歳で、「千草台小学校 宮澤 喜明」となっています。

また、女性の登用ですが、14名です。これにより、平成26年度の女性教頭は今年度の20名から9名増え、29名となります。

次に転出ですが、県との人事交流により、「星久喜中学校教頭 大野 雄次」が、千葉県総合教育センター 指導主事として、また「養護学校教頭 荻野 政仁」が、八千代特別支援学校教頭として転出します。

そして新たな交流として、「現都賀中学校教諭 古市 直彦」が市原市立市原小学校の新任教頭として転出します。

また、「市川市新浜小学校教頭 神地 英紀」が幕張西小学校教頭として、「千葉県立市原特別支援学校教頭 谷 直樹」が第二養護学校教頭として転入します。

次に採用ですが、千葉県との人事交流により「習志野市青少年センター主査 鈴木 俊哉」が幕張東小学校教頭として採用になります。

次に配置換えですが、「新宿小学校 平野 一彦」をはじめ、31名です。内訳は、小学校24名、中学校6名、特別支援学校1名です。

また、再任は「大椎小学校 加瀬達也」の1名です。

校長の配置換えと同様に、経験年数、教科等の専門性、学校規模等、様々な要件を考慮して、配置に努めるとともに、新任の教頭については、校長経験者との組み合わせ、そして、教頭経験者については、新任の校長と組み合わせるなど、校長・教頭の経験年数に応じてバランスのとれた配置となるよう配慮したところです。

最後に「行政へ」ですが、教頭職から教育委員会事務局等へ異動する者で、「幕張小学校 石田 邦治」はじめ、11名で、これらの者の平均年齢は52.8歳です。

委員 長 女性校長についてですが、昨年度に比べ、全体数は何人から何人になりましたか。

教職員課長 校長として退職した者が12名で、新任校長として登用したものが5名ということで、校長職の登用としては7名の減となります。

逆に教頭職については、5名が校長職に登用されましたが、それに対して14名の新任教頭を配置しています。

委員 長 校長先生の中の女性の割合が少し減ってしまったということですね。今後に期待したいですね。

教職員課長 名簿登載者自体が少ないという現状があります。

教育 長 今年は約50名が退職するのですね。

委員 多いですね。

委員 長 退職された校長先生が多く、配置換えは例年に比べ、多いのでしょうか。

教育 長 1校に長く勤めてもらうようにというお話がありましたから、その考えを反映させています。

ここにはありませんけれども、教務主任はもっと女性を増やしたいですね。そうしないと、教頭・校長への登用も増えないということもあります。

団塊の世代の最後が退職され、一番採用が少なかった年代が教

務主任層にあたっていて、その登用にはかなり苦勞をしています。  
とにかく女性の登用を多くしたいと思っています。

委員 長 困難な時代が来ると思います。

委員 員 これだけ大勢の人事異動は大変でしたね。

教育 長 ただ、1、2年で管理職を異動させることは少なくしようと思っただけなのですが。

教職員課長 先ほど教育長より教務主任についての話がありましたが、教務主任については、小学校113名中39名が女性、中学校においては、55名中3名ということで、小・中学校合わせて25%、4分の1が女性の教務主任という現状です。  
なお、新任の教務主任の最年少は39歳で、最年長は53歳です。

委員 長 小学校の割合で考えると、とても多いですね、中学校の管理職がなかなか育っていかないのが大きな課題だと思います。

とても難しい時代だと思いますので、今後もご苦勞が多いかと思いますが、よろしくお願いします。

#### 議案第11号 事務局等職員の人事について

委員 長 人事・労務担当課長、説明をお願いします。

人事・労務担当課長 「事務局等職員の人事について」、説明します。

平成26年3月31日付け、及び4月1日付け人事異動のうち、職務の級が5級以上の管理職に関する人事について、千葉県教育委員会組織規則第8条第4号の規定に基づき、議決を求めるものです。

まず、3月31日付けの人事発令は「学校施設課学校耐震化担当課長 森 薫」ほか9名の定年退職者、また「学事課統括管理主事 森 健」ほか24名の学校への帰任者等へ、退職発令をします。

次に、4月1日付け人事発令については、他部局や学校現場等との人事交流による組織の活性化及び定年退職者等による欠員の補充を基本とし、適材適所の配置に努め、発令を行うものです。

部長級では、「教育総務部長 竹川 幸夫」、「生涯学習部長 原 誠司」が市長事務部局へ出向し、その後任として、「総務局総務部人事課長 米満実」、「動物公園長 朝生 智明」に発令します。そのほか課長級で19名、課長補佐級で23名に、それぞれ発令をします。また、事務局内部での課長補佐級への昇格者として、「山下 ひろみ」を美浜図書館副館長に登用するなど、女

性職員の登用にも努めています。

最後に採用ですが、学校現場から事務局への採用者となりますが、課長級の「企画課統括管理主事 伊原 浩昭」をはじめ、19名を新たに採用します。

委員 市長との会合でもありましたが、女性の課長や主幹の登用はなかったのですか。課長は無理だとしても、統括管理主事や課長補佐級で、新しく女性はいなかったのでしょうか。

人事・労務担当課長 課長級では、残念ながら女性の登用はなかったのですが、課長補佐級では、先程ご説明した中で1名昇任ということで、「美浜図書館副課長 山下 ひろみ」を発令しています。

教育長 課長補佐級で養護教育センター副所長に「吉岡 龍子」を発令しています。高洲地区の統合が終わり、3年経ちましたので、教頭から副所長として登用しています。

委員 今回はこれでいいのですけれども、3年次、または5年次計画で、女性の事務局の管理職をどうするかというのを、そろそろ考えていかないといけないと思います。すぐにはやはり無理なので、準備がいると思います。

安倍首相が今度、人事院の総裁に女性を持ってくることは、大きなことですよ。次の文科省の事務次官も女性に決まっているらしいです。そのように2年ほど前から手をうっているのです。

千葉市の教育委員会もやはり3年くらい育成しないと難しいので、今回はこれでしょうがないけれども、その辺ぜひ検討していきたいと思っています。

委員 今は男性も女性も同じような競争ができますからね。力のある人はどんどん引き上げることを、今から考えなければなりませんね。

教育長 今回、教頭、教務の実数も増えていますから、この機会に育成していかないといけないと思っています。

今回適任者を選考したのですが、いきなりは採用できるものがないということと、また校長登用の年齢を考えた時に、だいたい57、8歳になると、行政へ異動させられないということがありますから、もう少し若年のうちから行政に登用しないといけないと、改めて感じます。

ご夫婦が教員の場合、どうしても女性が一步下がってしまって、管理職にならないというケースがあります。



このようになかなか難しいのですが、今はそのような時代ではないと思うので、考えていかないと思っています。2、3年後にはおそらくそういった方が出てこられると思います。

委員 長 すでに現在もそういった努力をいただいているので、今後2年、3年後には必ず実現してほしいという感じです。

委員 教職員の給与等が県から独立して人事や予算も、まさに本当に政令指定都市になりますよね。

その前に、最近千葉市における文部科学省からの出向はいつからなくなり、今後また行うのでしょうか。

あまり中央省庁との直結は良いとは思いませんが、文部科学省の情報があがってこなく、非常にテンポが遅いです。地方は別とはいえ、どうやって情報をとるかというのが一点です。

文部科学省の課長に来てもらうのが大変ならば、千葉市の教育委員会の事務の方を一年間研修にいくというのはどうでしょうか。

学校教育はかなり熱心だけれども、生涯学習は、スタッフも含め、非常に弱いと私は感じているので、特に生涯学習へ研修に行ってほしいと思います。

研修生がいると、やはり情報が入ってくるのですよ。今でも文部科学省社会教育課には小さな町の女性の方が来てます。そうやって勉強させています。内部でも人材育成あるのだけれども、外で働いてもらいたいと思います。

もう一点、市長部局との交流ですが、今回竹川部長、原部長が替わります。課長・部長もいいけれども、主幹や課長補佐級の方の、市長部局と教育委員会の人事交流を、結構行っているかもしれないのですが、県もそうですが、非常に市長部局内からみれば、教育委員会は古い体質にみえるのです。そういうことが言われるのがいやだから、もう少し教育委員会に入ってきてもらって、教育委員会は柔らかいということを示すためにも、人事交流は必要だと思います。

教育総務部長 1件目の文部科学省の交流の関係ですが、平成23年度までは教育総務部の企画課に主幹の立場の方が、文部科学省から来ていましたが、戻られたときに後任の方が来ませんでしたので、平成24、25年度は空白の状態でした。

また、文部科学省の方から研修生の受け入れというのは色々な形で話がきていますので、そういったことも検討したいと思って

ます。

教 育 長 交流として、都賀小学校の元教諭が現在文部科学省に行っています。

教育総務部長 それと、お話がありました市長部局との交流ですが、今度の私の後任として、市長部局の人事課長が来ますので、より積極的になるかと思えます。

委 員 員 もう少し若い層の人事交流は行ってないのですか。

教育総務部長 やっておりますが、今回の議案事項は管理職だけです。

委 員 員 今度いつか知らせてください。係長くらいが一番力をもっているじゃないですか。お互い交流すると、もっとパイプがつながっていいと思えます。

委 員 長 そうですね。係長以下の若い人たちがどの程度交流しているのかというのを知りたいですよ。

人事・労務担当課長 19日に内示の予定なので、その日にはお知らせできます。

委 員 長 誰がということではなく、何%くらい異動しているということがわかれば、様子がわかると思えます。

委 員 員 お互いに勉強しあうということですね。

委 員 長 特に千葉市の場合は場所も離れ、教育委員会が別物のように、周りからも中からも捉えられてしまうようなところがあるので、せめて人事交流で仲良く前に進んでいきたいと思っています。

教 育 長 本当は市長部局の職員で希望者がいれば、刺激になると思うので、何人かは学校で教頭職をやってほしいと思っています。

市長、副市長にも話はしてありますが、ただ手を挙げる人がいるか、いないかという問題はあります。

学校の教頭にいきなりというのは大変なので、やはり1年ぐらい研修のような期間を設け、どのような仕事をするのかということ認識する準備がやはり必要だと思います。

将来はむしろ教育委員会の方よりも、まずその前に市長部局との交流が必要だと思います。実際に予算の査定をしたりするのは市長部局なので、ちょっと考えたいと思っています。

委 員 員 私はそれに賛成です。委員会よりもまず市長部局。教頭は正直仕事が変わりにくいので、私の直感ではやめたほうがいいと思えます。

教 育 長 校長ならば意外といるかもしれないですね。

委 員 員 長 教頭先生は、細かいことを色々ご存じでないと少々難しいかもしれないですね。

委員 教頭先生は地域のPTAや青少年団体との付き合いが相当あるので、突然やらせたら、面食らうと思います。トップの場合は、決断すれば良いのですから。

委員 そういう時には教員免許は関係ないのですか。

教育長 校長は必要ありません。中学校の教頭は授業をしなければいけないので必要ですが、小学校は授業をしなくても良いので、必要ないと思います。

市長部局の中にも相当教員免許を持っている人がいますので、そういう人ならば良いかと思います。

確かに、今の話を聞いていると教頭にいきなりなるのは大変なことだと思いますので、もう少し考えます。

委員長 水面下で色々なことが動いているというのがわかりましたので、良かったと思っています。

## 7 その他

第3回定例会は、平成26年3月19日（水）午後2時より開催することと決定した。

## 8 閉会

和田委員長より閉会を宣言